

愛知県福祉サービス第三者評価事業 評価結果

①第三者評価機関名

一般社団法人福祉サービス評価センター

②施設・事業所情報

名称：恵の実保育園	種別：保育所	
代表者氏名：尾崎 恵理子	定員（利用人数）：60名（71名）	
所在地：愛知県豊川市市田町原山97・98番地		
TEL：0533-65-9803		
ホームページ：/ http://enomi.ednet.jp/		
【施設・事業所の概要】		
開設年月日 平成23年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 恵の実		
職員数	常勤職員：18名	非常勤職員：16名
専門職員	保育士 15名	保育士 5名
	調理師 1名	調理師 2名
		医師 2名
施設・設備の概要	保育室 4室、ホール 1室 給食室 1室	調理室、職員室、事務室、 相談室、トイレ
	屋外園庭 1,492 m ²	

③理念・基本方針

<p><理念> 一人ひとりの意欲を大切に、たくましく、かしこく、優しく育つことを願いながら、発達に弱さを持つ子どもも含め、0歳児から学童、大人まで共に育ち合う共同の子育てを目指します。</p> <p><基本方針（保育目標）> ① 「たべる」「ねる」「あそぶ」「はたらく」ことを通して子どもの”内なる自然”を育てる保育 ② 自然の中での仲間との体験活動を通してたくましさ、やさしさ、賢さや生きる力を育てる保育 ③ 人と交わる力を育て、0歳児から大人まで育ち合う保育 ④ 優れた絵本、一流の芸術、文化にふれ、豊かな感性を育てる保育</p>

④施設・事業所の特徴的な取組

◎歩くこと／近くに赤塚山公園、宮路山、本宮山などがあり、恵まれた自然を生かし、園外散歩、虫捕り、登山などにひんぱんに出かける。
◎水や土での遊び／汚れを気にせず、水・泥んこ遊びなど夢中になって遊ぶ。
◎身体を育てること／毎日リズムあそびをすることでしなやかな強い身体と心をつくる。
◎絵を描くこと／散歩したり、遊んだりした後、絵を描き、認識をつくる。
◎食えること／乳幼児期は脳や身体の発達がめざましい時期でもあり、偏食しないで何でも食えることができるようにする。
◎自分でできること／衣服の着脱や食事の準備など自分のことを自分でする。
◎はたらくこと／雑巾がけや動物の世話、畑作りなどをする。
◎自治／仲間の中で自分の意見がきちんと言えたり、話し合っ解決したりできる力を育てる。
◎文化／毎日の読み聞かせや歌うこと、生演奏の音楽など芸術や文化にふれることを大切にしている。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 5年 9月 15日（契約日）～ 令和 6年 3月 8日（評価決定日） 【令和5 年12 月8 日(訪問調査日)】
受審回数 (前回の受審時期)	1 回 (令和元年度)

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 園長は、恵の実保育園の前身となる共同保育園の創設者であり、園の理念・基本方針を十分に理解し、保護者、職員に浸透させる努力を継続している。また、経営状況を把握し、法人全体として目指すべき姿の実現、次世代職員の育成にも計画的に取り組んでいる。令和元年度に受審した第三者評価の結果を受け、中期計画の策定、働きやすい職場づくり、理念・基本方針の周知、マニュアルの整備など様々な場面でリーダーシップを発揮し、積極的に職員と共に改善への取組を進めている。

2. 「たべる」「ねる」「あそぶ」「はたらく」ことを通し、子どもたちが、自分で考え、意欲を持って将来をよりよく生きる力の基礎を培うために、保育者は子ども一人ひとりを大切にしたい保育の実践に努めるとともに「子どもたちの育ちに責任を持てる親」になっていくために職員と保護者がともに手を取り合い、協力し理解し合う取組を実行している。

3. 子どもたちが健康で安全、安心した生活が出来る保育環境を準備し、歩くこと、水や土での遊び、身体を育てること、絵を描くこと、食えること、自分でできること、はたらくこと、自分の意見が言え話し合っ解決できる力を育てること、文化に触れること一貫した取り組みを行っている。

4. 食育計画に基づいた給食は、陶器の食器を年齢に応じた形状で提供され、季節の野菜を中心に小骨のある魚や肉、海藻、果物、五分づき米などで栄養、味覚、彩りを大切にしている。将来的に体に優しい食べ物を自分の下で選んでいく力が育つことを考えた自然のものの持ち味を大切に考えられている。テラス、園庭など季節を感じられるような場所に用意された木製のテーブル、背筋を伸ばして座ることが身につくように配慮された木製の椅子を使って正しい姿勢で食えることが大切にされている。

◇改善を求められる点

1. 前回の第三者評価の結果を踏まえ、令和4年度に「2023年～から2027年 社会福祉法人 恵の実 中期事業計画が策定されたことは、第三者評価受審の好結果である。この中期事業計画に、具体的な事業内容と年次計画についても盛り込み明文化されることを期待する。また、法人としての中期事業計画を実現するために必要な事項について、保育園を始めとして各事業毎に中期計画を策定することも検討されると良い。

2. 「恵の実の子どもたちの健やかな育ちを支える三つの約束」を通して具体的に園の保育方針を伝えているが、便利な時代に育っている保護者の方に伝わりやすいよう絵を添える等表現を工夫し、0歳から大人まで共に育ちあう保育を目指して今以上に深めていくことを期待したい。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

令和元年度に続き、二度目の第三者評価受審でした。

高く評価していただいた点については、職員の自信へと繋げ、指摘を受けた点については真摯に受け止め、役職員一丸となって改善に取り組んでいきたいと思えます。特に中長期計画の具体化と年次計画の策定は、法人として優先的に取り組むべき課題であると認識しています。日々の業務に追われてしまいがちですが、中期計画にある「たまり場」の確実な実現に向けて、具体的な目標を設定し、着実に歩を進めていきたいと思えます。

今回の評価結果を活用し、「子どもの最善の利益」のために、全職員でより一層の努力をしていきたいと思えます。どうもありがとうございました。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。